

# 1 . 事前(S/W協議)調査団の派遣

## 1 - 1 調査団派遣の経緯と目的

インドネシア共和国ではスハルト政権下のジャワにおける工業化を中心とした経済発展に伴い、全体人口に占める貧困総人口の割合が60%(1970)から11%(1996)まで減少している(その後の経済危機により、現在は再度貧困民が増加している)。しかしこれによりジャワ島と外領地域の地域間格差が拡大したことから、第6次5か年計画(1994~1998)以降、東部地域を開発の重点地域に設定し、地域間の貧困格差の是正に取り組んでいる。

なかでも東・西ヌサテンガラ州は水産資源の潜在量が高く、農業生産量の伸びが停滞するなか、水産業は生産量の伸びで2%を維持するなど、貧困民の生計向上を図っていくために政府が特に水産振興に期待している地域である。

一方、インドネシア国水産業における実情をみると、国全体では世界第3位の経済水域に加え広大な内水面を有し、豊富な水産資源に恵まれており、漁業者も約500万人(就労人口の5%)、外貨獲得金額も約20億ドル(全輸出額の5%)を誇っている。また旧スハルト政権下での第2次国家開発計画(1994~2019年)以降、水産業振興を図ることが重要視されてきたことに加えて、2000年1月には省庁統合化の動きのなかで唯一、海洋開発水産省が農業省から独立し(2000年9月以降は海洋水産省)新設されるなど、国家の重要産業の1つとしての取り組みがなされている。

しかしその取り組みも今までは、ジャワ及びスマトラ周辺の西部地域に偏重されてきたため、東部地域はいまだ、漁労技術の未熟さ、また漁港などの漁業生産施設の不足から生じる漁業の非効率化や製氷などの物資調達における制約から流通加工分野の発展に支障が生じているのが現状である。

このような背景から、インドネシア国政府は1999年9月に我が国に対し、東部地域のなかでも特に、東・西ヌサテンガラ州を対象として漁業インフラ整備を中心とした東部地域沿岸漁村振興開発計画調査の実施を正式要請してきており、要請の内容を確認するとともに協力の範囲、調査内容等を明らかにするために平成13年1月に事前(S/W協議)調査団を派遣したものである。

## 1 - 2 調査団の構成

担当業務	氏名	所属
総括/生産基盤	重 義行	水産庁 漁場資源課生態系保全室長
漁業生産	村主 岳志	水産庁 国際課海外漁業協力室業務係長
漁民組織/水産普及	三春 敏夫	(株)国際水産技術開発主任研究員
水産経済/流通加工	中村 佳史	中村技術士事務所所長
調査企画	横山 純	国際協力事業団 農林水産開発調査部林業水産開発調査課

1 - 3 調査日程

(1) 全団員( 1/14 ~ 1/26まで)

日順	月日	曜	日 程	宿 泊 地
1	1/14	日	東京 JL725 ( 10:55 ) ( 16:05 ) ジャカルタ	ジャカルタ
2	15	月	JICA 事務所、大使館、国家開発企画庁、 海洋開発水産省表敬	ジャカルタ
3	16	火	水産総局協議	ジャカルタ
4	17	水	水産総局協議、 ジャカルタ JL725 ( 17:25 ) ( 20:10 ) デンパサール	デンパサール
5	18	木	デンパサール MZ6518 ( 9:30 ) ( 10:45 ) ビマ、 NTB 州政府、地方政府表敬	ビマ
6	19	金	現地調査 ( スンパワ島ビマ地区調査 : SAPE 港視察等 )	ビマ
7	20	土	NTB 州政府、地方政府協議、 ビマ MZ6575 ( 13:35 ) ( 14:55 ) デンパサール、 デンパサール GA413 ( 20:15 ) ( 20:55 ) ジャカルタ	ジャカルタ
8	21	日	資料整理	ジャカルタ
9	22	月	水産総局 S/W 協議	ジャカルタ
10	23	火	水産局 S/W、M/M 協議	ジャカルタ
11	24	水	水産局 S/W、M/M 協議 ADB、JBIC、GTZ、AusAID 表敬	ジャカルタ
12	25	木	S/W、M/M 署名、JICA 事務所報告 ( 漁民組織 / 水産普及団員、水産経済 / 流通加工団員以外 ) ジャカルタ JL726 ( 23:30 ) ( 漁民組織 / 水産普及団員、水産経済 / 流通加工団員 ) 現地ローカルコンサルタント情報収集	ジャカルタ 機中泊
13	26	金	( 漁民組織 / 水産普及団員、水産経済 / 流通加工団員以外 ) 東京 ( 8:40 ) ( 漁民組織 / 水産普及団員、水産経済 / 流通加工団員 ) ジャカルタ GA420 ( 8:35 ) ( 12:40 ) マタラム、 GTZ 表敬、漁村視察	マタラム

(2) 漁民組織/水産普及団員、水産経済/流通加工団員(1/27以降)

14	27	土	NTB 州開発事務所・水産事務所協議、民間水産・海藻加工業者、鮮魚・仲買業者、市場、漁村視察	マタラム
15	28	日	マタラム MZ6601 (12:30) (14:00) デンパサル	デンパサル
16 }	29 }	月	デンパサル MZ6580 (13:30) (15:00) マウメレ、 現地調査(フローレス島)	マウメレ 等
19	2/ 1	木	Larantuka、Maumere、Endeh、Bajawa 地区視察等 マウメレ MZ6551 (14:50) (17:05) デンパサル	
20 }	2 }	金	ゴンドール水産研究所、民間種苗業者の視察、 ローカルコンサルタンツ関連資料収集、	デンパサル 等
22	4	日	網生け簀養殖業者等視察 デンパサル GA407 (14:45) (15:25) ジャカルタ	
23 }	5 }	月	水産総局、援助機関 (FAO、ADB、GTZ 等) 協議	ジャカルタ
26	8	木	ローカルコンサルタンツ関連資料収集 ボゴール農科大学水産学部で情報収集	
27	9	金	JICA 事務所報告、 ジャカルタ JL726 (23:30)	機中泊
28	10	土	東京 (14:10)	

1 - 4 主要面談者

(1) 国家開発企画庁 (BAPPENAS)

Dr. Ir Ceppie K. Sumadilaga Head Bureau for Bilateral Economic Cooperation  
Ms. Sri Yanti Bureau of Agriculture and Forestry

(2) 海洋水産省 (Ministry of Marine Affairs and Fisheries)

Dr. Sapta Rirwandar Secretary General  
Mr. Ir. Mian Sahala Sitanggang Head Division of International Institution  
Cooperation, Bureau of Planning and Foreign  
Cooperation

(3) 海洋水産省水産総局 (Directorate General of Fisheries)

Mr. Untung Wahyono Director General  
Mr. A.M. Djoko Sugiarto Acting Secretary, and Director of the Directorate of  
Infrastructure  
Mr. Saut P Hutagalung Head, Division of Fishing Port, Directorate of  
Infrastructure  
Mr. Heriyanto Marwoto Head, Division of Planning and Budgeting,  
Secretariat Directorate General

- |   |  |
|---|--|
| Mr. Reza Shah Pahlevi                       | Head, Sub Division of Foreign Cooperation,<br>Division of Planning and Budgeting, Secretariat<br>Directorate General |
| Mr. Badia Sibuea                            | Head, Legal Section  |
| Dr. Budi H. Lubis                           | Project Manager, Co-Fish Project   |
| Mr. Lars Engvall                            | Project Management Consultant, Co-Fish Project   |
| (4) 西ヌサテンガラ州(NTB)                           |  |
| Mr. Ir. Salahuddin M                        | Chief of Extension, Dinas Perikanan Provinsi   |
| Mr. Gusti N. Tantra                         | Dinas Perikanan Provinsi   |
| Mr. Ibrahim AB                              | Bappedal (Environment)   |
| Mr. Lalu Sabit                              | Dinas Perikanan Maturam  |
| (5) 東ヌサテンガラ州(NTT)                           |  |
| Mr. Mauritz Dacuma                          | Dinas Perikanan, Maumere   |
| Mr. Mose K. Raya                            | Dinas Perikanan, Larantka  |
| なお、地方(District)水産事務所については部署名のみ列挙する。         |  |
| Regional office of Ministry of Public Works |  |
| Regional development plan agency            |  |
| Programs arrangement of district office     |  |
| Fisheries District office                   |  |
| (6) ボゴール農科大学水産海洋学部                          |  |
| Dr. Ari Pubayanto                           | Department of Fisheries Resources Utilization,<br>Faculty of Fisheries and Marine Science                            |
| (7) バリ島ゴンドール水産研究所                           |  |
| Dr. Ketut Sugama                            | Gondol Research Inst. For Coastal Aquaculture  |
| Dr. Nyoman Adiasmara                        | Gondol Research Inst. For Coastal Aquaculture  |
| Mr. Shougo Kawahara                         | JICA Expert  |
| (8) 国際協力銀行                                  |  |
| 福山 公博                                       | ジャカルタ駐在員   |
| (9) アジア開発銀行                                 |  |
| Mr. Yoshiharu Kobayashi                     | Senior Project Implementation Officer  |
| (10) GTZ                                    |  |
| Mr. Viktor Boettcher                        | Director, GTZ Office Jakarta   |

( 11 ) FAO

Dr. Hideo Imai

FAO Representative

( 12 ) AusAID

Mr. Kim Henderson

Second Secretary, Australian Agency for  
International Development

Mr. DIDI S. MARJIMI

Senior Program Officer

( 13 ) 在ジャカルタ日本大使館

若林 英樹

書記官( 環境・林業・水産担当 )

( 14 ) JICAインドネシア事務所

庵原 宏義

所長

米田 一弘

次長

佐野 明平

所員( 水産担当 )

堀越 伸幸

専門家( 水産計画 )